

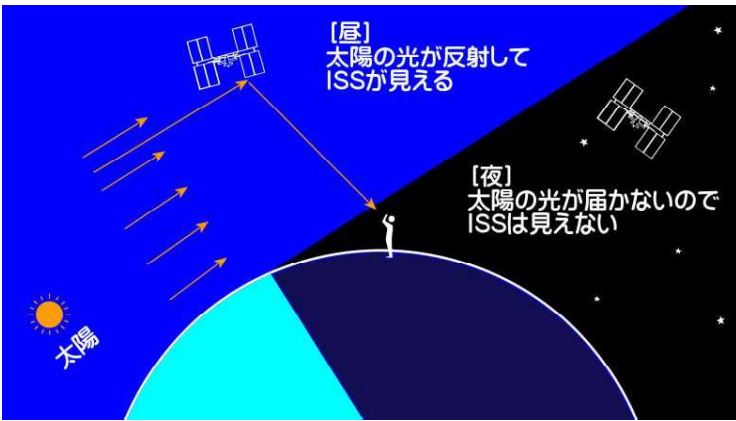
2月大天体ショーが始まる

プラネ新聞

日没後にうごめく物がUFOかあ...? いやISSだった 大人人工天体ショーを楽しめ!!

皆さんはISSを肉眼で見たことはありませんか? それよりもISSって何?と疑問に思われている方もいると思います。ISSと

はInternational Space Station「国際宇宙ステーション」の略で1998年から地上400kmの高度に建設され、2011年に完成した宇宙ステーションです。大きさはサッカーコート一面もあり、巨大な人工天体が地球上を周回して



話を本題に戻しましょう。ISSを見たことはありませんか。もちろんいくら大きいとはいっても、本体を肉眼で見ることがほぼ不可能です。では、見るとは一体何を指しているのでしょうか。それはISSの光です。しかしISS本体が直接光を出している訳ではありません。実はISSが太陽の光を反射して、その光を見て

発行所 岐阜市科学館
〒500-8389
岐阜市本荘3456-41
TEL: 058-272-1333
FAX: 058-272-1303

せん。これを見るためにはある条件がそろふ必要があります。その条件とは日没直後から約1時間の間に、見通せる空の空間をISSが通過し、さらにISSに当たった太陽の光がちょうど自分に反射してくる角度に来たときに見る事が出来るのです。日の出1時間前も同様です。ISSは地球に対して、同じ軌道を約90分で一周します。やっぱりいつも見ることが出来るのではありませんが、その90分の間に地球は自転しているの

「冬の星座をさがそう」
人気展示物の紹介

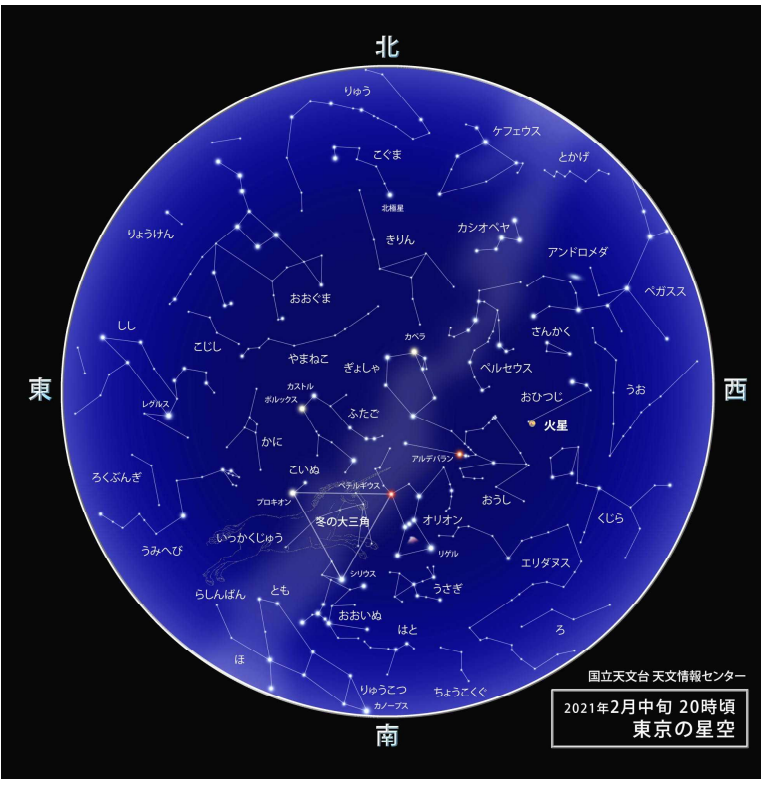
大変人気のあるこのコーナーは一階エントランスに展示してあります。季節ごとにそのコンテンツは変わっていきます。今回の目玉は冬の六角形です。星座入りの写真を見なくても、六個の一等星とその星座をたどることが出来たら星博士!!



いっかくじゅう見参!

さて、今回は自立たない星座シリウス第4弾! 自立たないけれど結構目立つ位置にいる星座、いっかくじゅう座です。なんと冬の大三角の中にドーンと横たわっています。でもなぜ自立たないのでしょうか。もうこれは自立たない星座の宿命とも言えます。まじょうか、明るい星がありません。4等星以下の暗い星ばかりで構成されているのです。なのにその面積は88星座中34番目の大きさなのです。さて、このいっかくじゅう、1本の長い角をもち、体は白馬のようで、足が速く、結構凶暴な生き物とされています。またこのいっかくじゅう

の角で作った杯でお酒を飲むと不老不死になるとも言われています。もちろん、架空の生物なのですが、これとよく似た生き物の中に、海を泳ぐいっかくがいますね。
ところで自立たないとは言いましたが、いっかくじゅう座の中には有名な星雲があります。バラ星雲です。皆さんも凶鑑などでご覧になった人もあると思いますが、星雲の形が宇宙に咲いたバラの花のようで、結構美しい星雲です。もちろん肉眼では見ることは出来ません。高原などに行ったらとき、非常に条件の良い日であれば、双眼鏡を通して薄く広がったガスのようなバラ星雲を見ることが出来ます。この冬、いっかくじゅう座に注目!!



国立天文台 天文情報センター
2021年2月中旬 20時頃
東京の星空